

# 農政経済学分野 令和3年度入学者

生物資源生産科学コース 農政経済学分野

凡例 科目区分 基礎教育必修 基礎教育選択必修 プログラム必修 プログラム選択 卒業研究 国際コース 大学院連携科目  
再掲は薄色表示 基礎教育必修 基礎教育選択必修 プログラム必修 プログラム選択 卒業研究 国際コース

学年	学期	科目	1年生				2年生				3年生				4年生						
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
D. 実践		D-3.社会を分析的かつ総合的に思考できる。																			
		D-2.社会に積極的に貢献しようという意思をもつ。																			
		D-1.自分自身に関する高い倫理観を養える。																			
C-2. 技能 (C-2 総合・創造能力)		C-2-3.社会を正しく認識し、問題を発見する能力を身につける。																			
		C-2-2.情報を正確に把握し、論理的に思考する能力を身につける。																			
		C-2-1.問題解決の方法を提示し、実行する能力を身につける。																			
C-1. 技能 (C-1 専門的能力)		C-1-3.実証分析の方法を利用し、社会を正しく認識した上で、その結果を評価し、自分の考えを正しく表現できる。																			
		C-1-2.数学を利用して数値分析を行い、論理的かつ分析的に思考できる。																			
		C-1-1.社会科学の思考法を利用し、社会を多角的に分析できる。																			
B. 知識・理解		B-5.農政経済学の基礎法則より、食料、農業、農村、環境の多様な経済現象を理解し、説明できる。																			
		B-4.経済学の基礎法則より、経済現象を理解し、説明できる。																			
		B-3.実証分析の方法を用いて、経済現象の定量的及び定性的特徴を理解し、説明できる。																			
		B-2.社会科学における様々な現象を理解し、説明できる。																			
		哲学・思想入門																			
		先史学入門																			
		歴史学入門																			
		文学・言語学入門																			
		芸術学入門																			
		文化人類学入門																			
		地理学入門																			
		社会学入門																			
		心理学入門																			
		教育基礎学入門																			
		法学入門																			
政治学入門																					
経済学入門																					
経済史入門																					
The Law and Politics of International Society																					
情報科学																					
力学基礎																					
力学概論																					
入門統計Ⅰ																					
無機物質化学Ⅰ																					
自然科学総合実験																					
B-1.自然科学及び生物資源生産科学の基礎知識を理解し、説明できる。																					
分子細胞生物学																					
植物生理学Ⅰ																					
生物化学Ⅰ																					
遺伝学Ⅰ																					
微生物学																					
水環境工学																					
気象学																					
有機化学Ⅰ																					
農業情報学																					
A-6.情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、自分の考えを正しく表現できる。																					
言語文化科目(第二外国語Ⅰ)																					
言語文化科目(第二外国語Ⅱ)																					
A-5.文章表現能力、口頭発表能力、及び対話力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を発信、吸収できる。																					
学術英語・アカデミックイシューズ																					
学術英語・グローバルイシューズ																					
A-4.農政経済のみならず、社会に深い関心を示す。																					
農学入門																					
基礎教育セミナー																					
The Law and Politics of International Society																					
哲学・思想入門																					
先史学入門																					
歴史学入門																					
文学・言語学入門																					
芸術学入門																					
文化人類学入門																					
地理学入門																					
社会学入門																					
心理学入門																					
教育基礎学入門																					
法学入門																					
政治学入門																					
経済学入門																					
経済史入門																					
健康・スポーツ科学演習																					
課題協同学科目																					
高年次基礎教育科目																					
領域 A-1.学修目標(学修目標)																					
学年																					
1年生																					
2年生																					
3年生																					
4年生																					
アセスメント・プラン																					

3年生第2Q終了時にアセスメントⅠを実施

4年生第4Q期間中にアセスメントⅡを実施



# 農政経済学分野 令和5年度入学者

生物資源生産科学コース 農政経済学分野

凡例 科目区分 基礎教育必修 基礎教育選択 基礎教育必修 プログラム必修 プログラム選択 プログラム必修 プログラム選択 卒業研究 国際コース 大学院連携科目  
再掲は薄色表示 基礎教育必修 基礎教育選択 プログラム必修 プログラム選択 卒業研究 国際コース

学年	学期	学修目標(学修目標)	1年生				2年生				3年生				4年生					
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
D.実践		D-3.社会を分析的かつ総合的に思考できる。																		
		D-2.社会に積極的に貢献しようという意思をもつ。																		
		D-1.自分も誇れる高い倫理観を養える。																		
C-2.総合(C-2総合・創造能力)		C-2-3.社会を正しく認識し、問題を発見する能力を身につける。																		
		C-2-2.情報を正確に把握し、論理的に思考する能力を身につける。																		
C-1.技能(C-1専門的能力)		C-1-3.家庭分析の方法を利用し、社会を正しく認識した上で、その結果を評価し、自分の考えを正しく表現できる。																		
		C-1-2.数学を利用して数値分析を行い、数値的かつ分析的に思考できる。																		
C-1.1.社会科学の思考法を利用し、社会を多角的に分析できる。		C-1-1.社会科学の思考法を利用し、社会を多角的に分析できる。																		
B.知識・理解		B-5.農政経済学の基礎法則より、資料・農産物・農村・環境の多様な経済現象を理解し、説明できる。																		
		B-4.経済学の基礎法則より、経済現象を理解し、説明できる。																		
B-3.実証分析の方法を用いて、経済現象の定性的及び定量的性質を理解し、説明できる。		B-3.実証分析の方法を用いて、経済現象の定性的及び定量的性質を理解し、説明できる。																		
B-2.社会科学における様々な現象を理解し、説明できる。		B-2.社会科学における様々な現象を理解し、説明できる。																		
B-1.自然科学及び生物資源生産科学の基礎知識を理解し、説明できる。		B-1.自然科学及び生物資源生産科学の基礎知識を理解し、説明できる。																		
A.主体的学び・協学		A-5.情報処理能力、コミュニケーション能力を磨き、自分の考えを正しく表現できる。																		
		A-4.文章表現能力、口頭発表能力、及び対話力を持って広く世界と交流し、協力的に情報を発信、吸収できる。																		
A-3.農政経済のみならず、社会に深い関心を示す。		A-3.農政経済のみならず、社会に深い関心を示す。																		
A-2.多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたること		A-2.多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたること																		
A-1.深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができ		A-1.深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができ																		
領域	学修目標(学修目標)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
アセスメント・プラン			3年生第2Q終了時にアセスメントⅠを実施								4年生第4Q期間中にアセスメントⅡを実施									

# 農政経済学分野 令和6年度入学者

## 生物資源生産科学コース 農政経済学分野

凡例	科目区分	基礎教育必修	基礎教育選択必修	プログラム必修	プログラム選択	選択必修	卒業研究	国際コース選択必修	大学院連携科目
	再掲は薄色表示	基礎教育必修	基礎教育選択必修	プログラム必修	プログラム選択	選択必修	卒業研究	国際コース選択必修	

学年	学期	学修目標(学士課程)	1年生				2年生				3年生				4年生							
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
D. 実践		D-3.社会を分析的かつ総合的に思考できる。																				
		D-2.社会に積極的に貢献しようという意思をもつ。																				
		D-1.自分も世する高い倫理観を養える。																				
C-2. 技能 (C-2 総合・創造能力)		C-2-3.社会を正しく認識し、問題を発見する能力を身につける。																				
		C-2-2.情報を正確に把握し、論理的に思考する能力を身につける。																				
C-1. 技能 (C-1 専門的能力)		C-1-3.実証分析の方法を利用し、社会を正しく認識した上で、その結果を評価し、自分の考えを正しく表現できる。																				
		C-1-2.数学を利用して数値分析を行い、数値的かつ分析的に思考できる。																				
B. 知識・理解		B-5.農政経済学の基礎法則より、資料、農業、農村、環境の多様な経済現象を解釈し、説明できる。																				
		B-4.経済学の基礎法則より、経済現象を解釈し、説明できる。																				
A. 主体的学び・協学		A-5.情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、自分の考えを正しく表現できる。																				
		A-4.文章表現能力、口頭発表能力、及び対話力を持って広く世界と交流し、効率的に情報を発信、吸収できる。																				
A. 主体的学び・協学		A-3.農政経済のみならず、社会に深い関心を示す。																				
		A-2.多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。																				
A. 主体的学び・協学		A-1.深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味、検討することができる。																				
領域	学修目標(学士課程)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
アセスメント・プラン			3年生第2Q終了時にアセスメントⅠを実施												4年生第4Q期間中にアセスメントⅡを実施							



